



2005年6月20日

PRESS RELEASE

1/2

報道解禁日時：日本時間2005年6月20日（月）午前8時以降でお願いします。

MDI、ドイツ・ショットアーゲーのレーザ分断事業を買収

FPDレーザ分断機市場でのトップシェアを目指した成長戦略

三星ダイヤモンド工業株式会社（本社：大阪府吹田市、代表取締役社長 三宅泰明、以下MDI）とショットアーゲー（本社：ドイツ、マインツ市）は、ショットアーゲーのレーザ事業をMDIに譲渡する事で合意し、契約を締結しました。これによりMDIはレーザ事業に関する知的財産・技術と営業権を全て継承しました。同時にフラットパネルディスプレイを含む脆性材料のレーザ分断技術強化を図るため、2005年6月1日にドイツ（マインツ市）にも、開発・営業拠点 MSAP（*）を設置致しました。この拠点では、旧ショットアドバンスプロセッシング（**）に所属していた人的資産や研究開発設備も継承しました。

提携の背景/目的

近年、フラットパネルディスプレイの分断において、高品質化への、そして同時に多様化への要望が急速に求められています。

これまでMDIは、カッティングホイールによる分断装置で常に新しいコンセプトの装置ならびにツールを提供し、フラットパネルディスプレイ分断・面取り・工具の市場において現在トップシェアの状況にあると同時に、レーザによる分断量産装置においてもトップシェアをもっています。一方、ショットアーゲーも早くからレーザによるガラスの分断装置等の開発を行い、特徴のある技術を保有し市場でも幅広く受け入れられ、MDIとシェアを二分してきました。

今般両者の相互に特徴を持ったレーザプロセス技術を融合することにより、技術開発力を増強、今後想定されるさまざまな顧客ニーズに、幅広い技術ソリューションを提案し、更には新しいニーズマーケットへの開発も進めて行くこととなります。

PRESS RELEASE

2/2

今後の予定

技術面： 特許権等の知的財産権及びそれに関する技術移転

製造面： 技術移転後は MDI が製造体制確立

販売面： 販売ルートの整備・体制構築

(欧州共同体域内と米国地域：MSAP その他の地域：MDI)

*) ショットアドバンストプロセッシング：

ショットアーゲーの一部門で、主として板ガラスを対象としたレーザによる切断技術を研究開発していた。

**) MSAP：

社名：エムディアイ ショット アドバンスト プロセッシング ゲーエムベーハー
(アルファベット表記) MDI Schott Advanced Processing GmbH

所在地：アム ゲトライデシュパイチャー 7 55120 マインツ市、ドイツ
(アルファベット表記) Am Getreidespeicher 7 Mainz 55120 Germany

問合せ先

三星ダイヤモンド工業株式会社 事業戦略室 課長 岡本 慶太郎

TEL:06-6378-3847 FAX:06-6378-3851 E-Mail:kokamoto@mitsuboshi-dia.co.jp